

平成24年度

高知県学力定着状況調査結果の概要
速報版

平成25年2月

高知県教育委員会

平成24年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

本県の学力課題である小学校中学年からの二極化、中1ギャップによる学力の低下に対応するために、小学校第5学年及び中学校第2学年の児童生徒の学力定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立する。

II. 調査の対象

(1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第5学年

(2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第2学年

県立中学校第2学年

◇小学校解答児童数

国語 6,188人 算数 6,185人

◇中学校解答生徒数

国語 4,953人 社会 4,945人

数学 4,933人 理科 4,934人

外国語（英語） 4,935人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校…国語・算数

中学校…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声聞いて答える問題も出題

(2) 内容

- ・基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題
- ・選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施期間

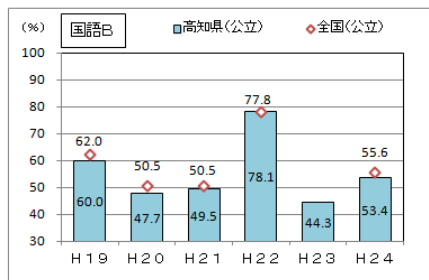
平成25年1月8日（火）～1月11日（金）

これまでの学力調査結果等から明らかになった本県の課題と高知県学力定着状況調査作成の意図

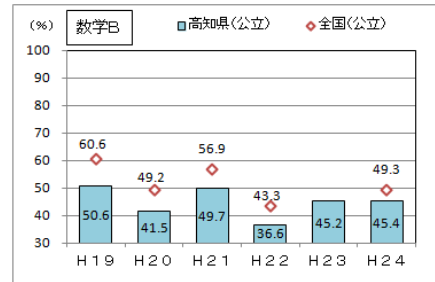
1 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

基礎的・基本的な知識・技能を活用することや思考したことを表現することに課題が見られる。

小学校国語B

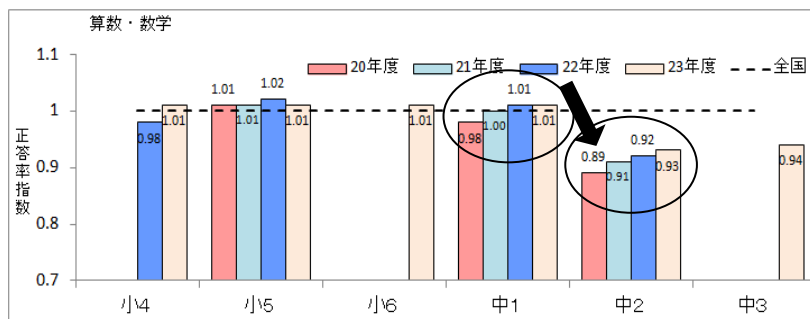


中学校数学B



2 到達度把握調査結果

中1段階における学力の低下傾向や小学校中学年からの中2段階の学力の定着状況において二極化が見られる。



※最も採択率の高い「標準学力調査」の結果をまとめたもの

明らかになった課題

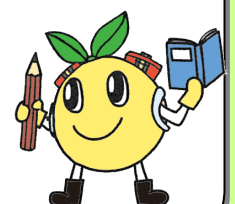
★基礎基本の定着 ★記述式の問題への対応 ★思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実

< 各 教 科 >

- ◇国語：目的や意図に応じて、複数の情報を関連付けて読み、内容を正確にとらえること
示された条件に即して書くこと
- ◇算数：表やグラフから必要な情報を読み取ったり、言葉や数を使って表現したりすること
数学：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
- ◇社会：地図や資料から地理的事象を読み解くことや歴史を大きな流れでとらえること
基本的な知識と社会的な事象とを関連付け、思考し判断すること
- ◇理科：観察・実験の結果から法則や関係を説明すること
与えられた条件の中で、既習内容を活用して科学的に考察すること
- ◇外国語：テーマに沿ってまとまりのある一貫した英文を書くこと
(英語) 一定のまとまった量の英文から要点を適切に読み取ったり、聞き取ったりすること

高知県学力定着状況調査 作成の意図

- 過去の調査問題における課題改善の取り組みの検証を図る問題
- 複数の情報を関連付けて理解・解釈する問題
- 資料や情報に基づいて自分の考えを表現する問題 等



教科に関する調査結果

小学校

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
国語	60.9	68.8	56.8	38.6	65.9

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	73.2	74.9	61.1	87.4	73.4

中学校

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
国語	64.4	57.0	62.5	49.9	70.4

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)		
		世界の様々な地域	日本の様々な地域	中世の日本・近世の日本
社会	48.3	66.8	42.6	39.9

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)			
		数と式	図形	関数	資料の活用
数学	48.3	55.8	59.1	37.3	44.3

	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)			
		物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
理科	48.4	27.8	45.2	64.8	52.3

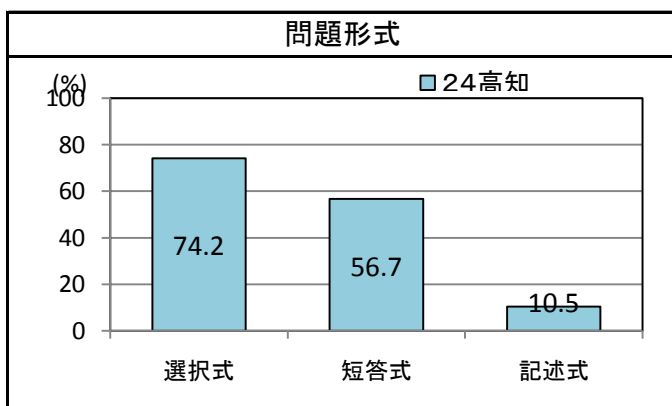
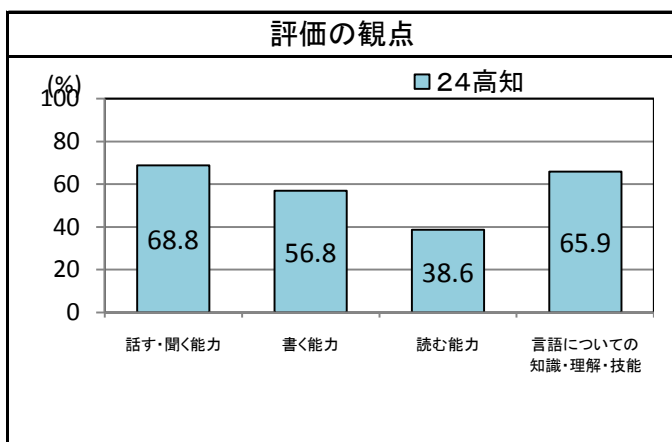
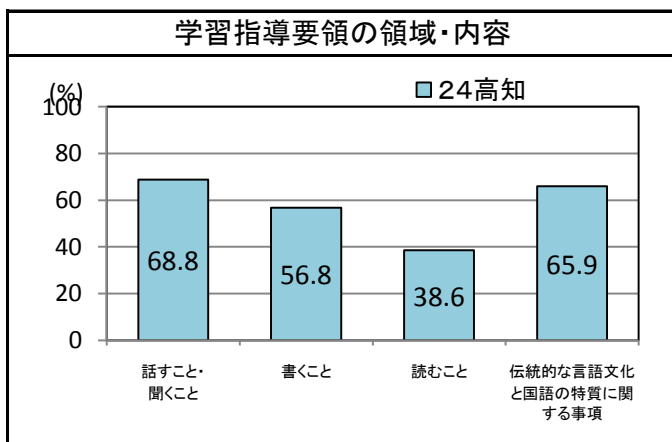
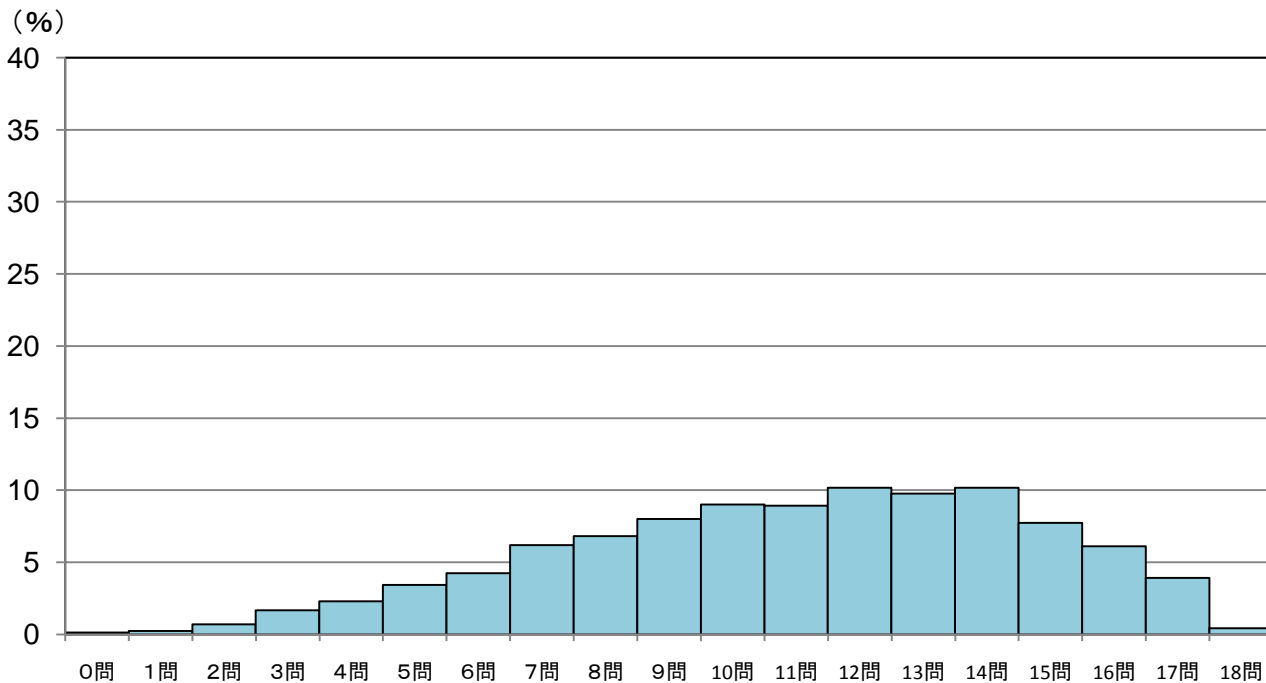
	高知県平均正答率(%)	正答率(領域・内容)		
		聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	48.8	54.6	51.6	38.7

小学校国語
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	6,188	11.0/18	60.9

正答数 (割合 (%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.7
3問	1.7
4問	2.3
5問	3.4
6問	4.3
7問	6.2
8問	6.8
9問	8.0
10問	9.0
11問	8.9
12問	10.2
13問	9.8
14問	10.2
15問	7.7
16問	6.1
17問	3.9
18問	0.4

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



○国語の平均正答率は60.9%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえること
[7二 正答率20.6%、無解答率7.4%]

【「子ども高知新聞」の記事】 2012年(平成24年)6月13日

7 次は、記者の両さんが書いた「子ども高知新聞」の記事と、記事を書くための「取材メモの一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

二 車夫(こしやう)は、少しずつ走るきよりのをのばしたり、タイムをちぢめたりするには、どのようなことをしたらよいと言っていますか。

「長きよりを走るコツ」の中に書かれている言葉を使って十字以内で書きましょう。

【取材メモの一部】

6月13日 きよりは秋人の日

高知のマラソン夫妻に聞く！
長きよりを走るコツ

お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが、きよりのを走るのを楽しんでいます。きよりのを走るのには、コツがあります。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが、きよりのを走るのを楽しんでいます。きよりのを走るのには、コツがあります。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが、きよりのを走るのを楽しんでいます。きよりのを走るのには、コツがあります。

【取材メモの一部】

きよりのを走るのには、コツがあります。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが、きよりのを走るのを楽しんでいます。きよりのを走るのには、コツがあります。お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが、きよりのを走るのを楽しんでいます。きよりのを走るのには、コツがあります。

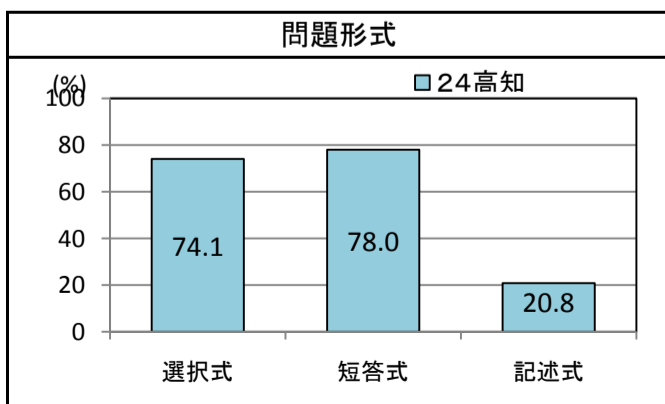
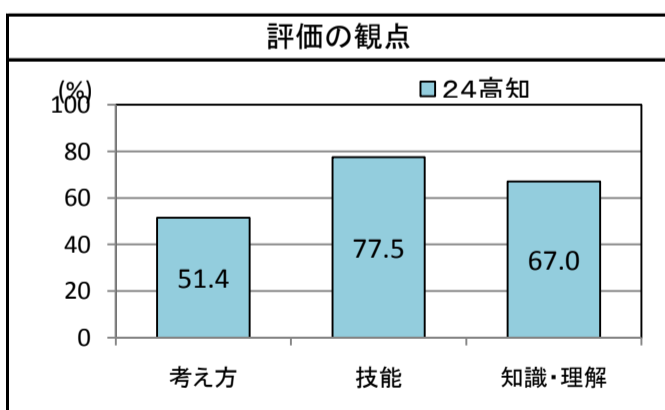
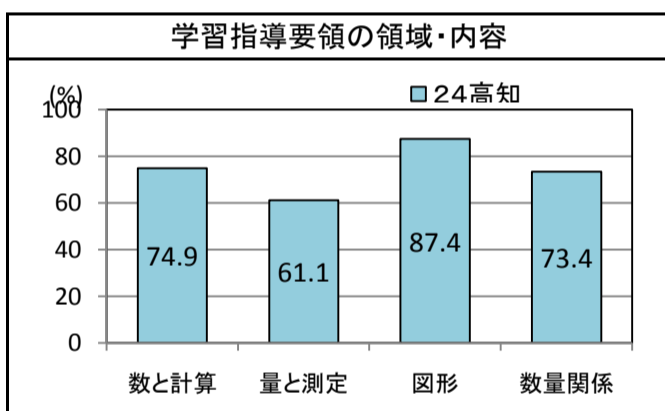
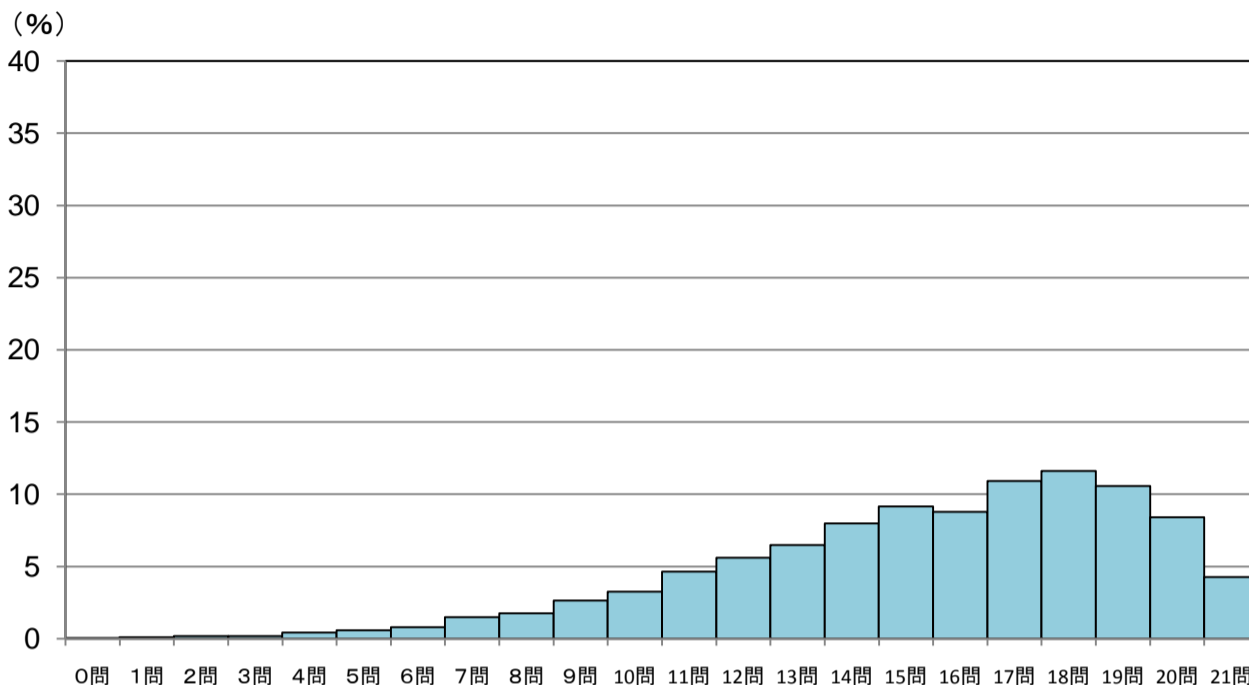
※学習シート等との関連・参考
国語学習シート No.70・106・110

小学校算数
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	6,185	15.4/21	73.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.2
3問	0.2
4問	0.4
5問	0.6
6問	0.8
7問	1.5
8問	1.8
9問	2.6
10問	3.2
11問	4.7
12問	5.6
13問	6.5
14問	8.0
15問	9.2
16問	8.8
17問	10.9
18問	11.6
19問	10.6
20問	8.4
21問	4.3

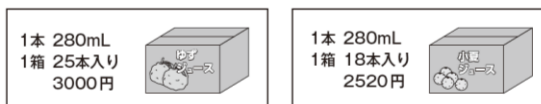
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○算数の平均正答率は73.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

・単位量当たりの大きさを比較し、どちらがお買い得かを説明すること [9(2) 正答率20.8%、無解答率1.8%]

(2) みかさんは、ゆずジュースと小夏ジュースのどちらがお買い得かを考えています。



1本あたりのジュースの量は同じだけど、1箱あたりのジュースの本数と1箱あたりのねだんはちがっているわ。どうやって比べたらいいのかな。



- 1 1本あたりのねだんを求めて比べる
- 2 1円あたりの本数を求めて比べる

あなたなら、上の1と2のどちらの方法で考えますか。

上の1と2から1つ選び、その選んだ方法で、ゆずジュースと小夏ジュースのどちらがお買い得かを、言葉と式を使って説明しましょう。

どちらの方法を選んで説明してもかまいません。

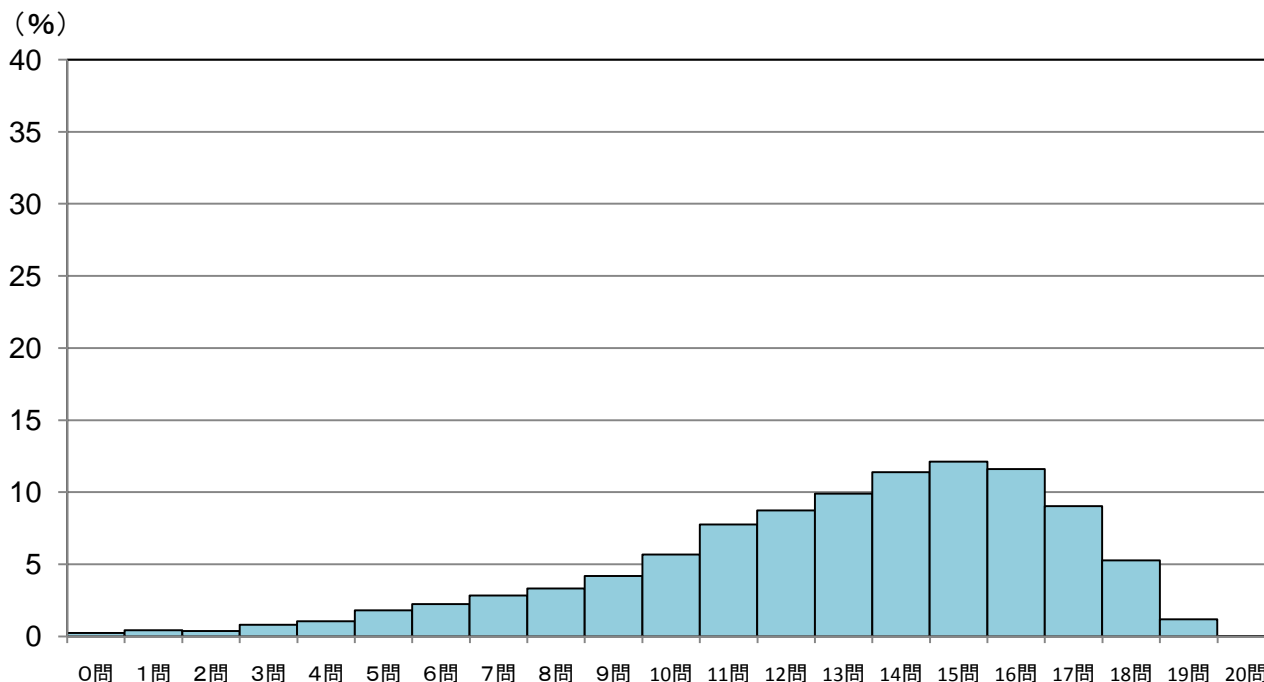
※学習シート等との関連
小学5年算数シート No.16 (単位量あたりの大きさ)

中学校国語
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	4,953	12.9/20	64.4

正答数 (割合%)	
0問	0.2
1問	0.4
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.0
5問	1.8
6問	2.2
7問	2.8
8問	3.3
9問	4.2
10問	5.7
11問	7.8
12問	8.7
13問	9.9
14問	11.4
15問	12.1
16問	11.6
17問	9.0
18問	5.3
19問	1.2
20問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



学習指導要領の領域・内容

領域・内容	割合 (%)
話すこと・聞くこと	57.0
書くこと	62.5
読むこと	49.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.4

評価の観点

評価の観点	割合 (%)
話す・聞く能力	57.0
書く能力	62.5
読む能力	49.9
言語についての知識・理解・技能	70.4

問題形式

問題形式	割合 (%)
選択式	73.4
短答式	66.1
記述式	9.1

○国語の平均正答率は64.4%で、例えば、次のような課題が見られた。

・複数の情報を関連付けて、分かりやすく説明すること
[10三 正答率17.5%、無解答率15.6%]

高橋さんが紹介してくれたカード

10 上村さんのグループは、高知県立牧野博士の季節の飾りである「五台山花鈴巻」をテーマに「花血鉢」をカードにして紹介するために、植物園の高橋さんに意見を聞いています。次は上村さんたちが作った「紹介カード」の下の「三」と「三」と高橋さんの意見の「三」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

三 上村さんグループは、高知県立牧野博士の季節の飾りである「五台山花鈴巻」をテーマに「花血鉢」をカードにして紹介するために、植物園の高橋さんに意見を聞いています。次は上村さんたちが作った「紹介カード」の下の「三」と「三」と高橋さんの意見の「三」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

三 上村さんグループは、高知県立牧野博士の季節の飾りである「五台山花鈴巻」をテーマに「花血鉢」をカードにして紹介するために、植物園の高橋さんに意見を聞いています。次は上村さんたちが作った「紹介カード」の下の「三」と「三」と高橋さんの意見の「三」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

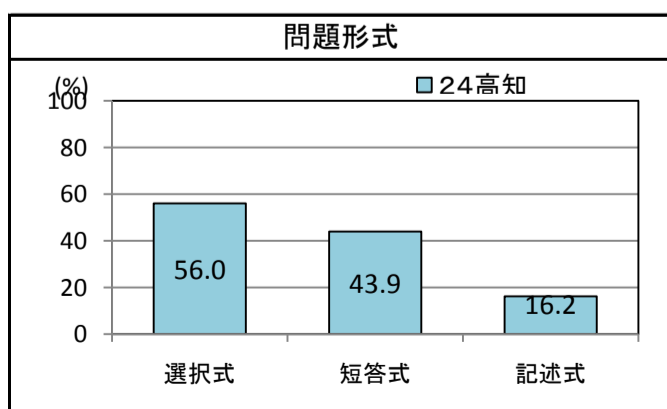
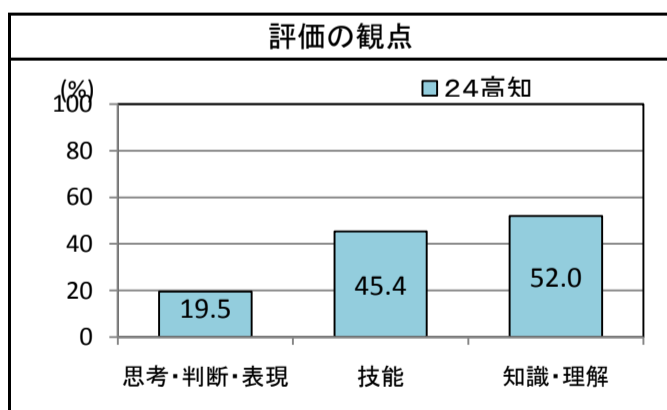
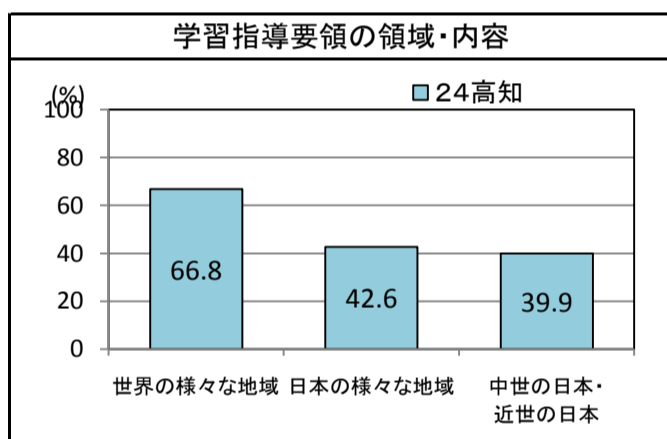
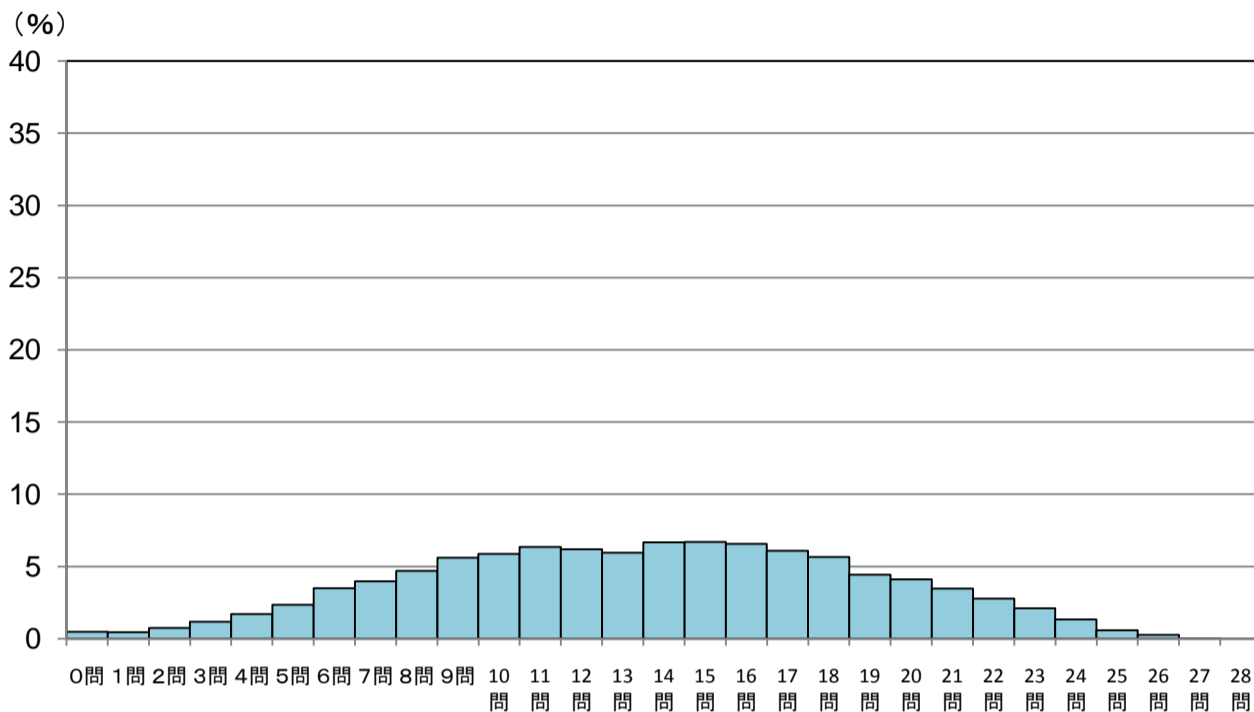
※学習シート等との関連・参考
国語学習シート No.12・26・42・60・62・63
国語指導改善資料集 P.104・105

中学校社会
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	4,945	13.5/28	48.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.5
1問	0.4
2問	0.7
3問	1.2
4問	1.7
5問	2.3
6問	3.5
7問	4.0
8問	4.7
9問	5.6
10問	5.9
11問	6.3
12問	6.2
13問	6.0
14問	6.7
15問	6.7
16問	6.6
17問	6.1
18問	5.7
19問	4.4
20問	4.1
21問	3.5
22問	2.8
23問	2.1
24問	1.3
25問	0.6
26問	0.3
27問	0.0
28問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○社会の平均正答率は48.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

・日本の農業を活性化するための工夫についての様々な資料を、分類・考察し、分類した2つの視点を自分の言葉で表現すること

[4(2)A 正答率4.5%、無解答率23.0%
B 正答率7.2%、無解答率24.3%]

(2) 山本さんは、さらに調べたいと思ったことについて、資料をいくつか集め、日本の農業を活性化させるための工夫を2つの視点でまとめました。

資料から考えたことの図、図に当てはまる言葉を簡潔に書きなさい。

さらに調べたいと思ったこと

このままで日本の農業は大丈夫なのか。

日本の農業の現状を改善するための工夫として、どんなことが行われているのだろうか。

【集めた資料】

①スーパーマーケットの野菜地産消コーナー

②高知県内の農協や生産団体による農産物直販所の記事

③無農薬で栽培した野菜の宅配パンフレット

④植物工場の例
植物を天候に左右されずに、質・量とも安定して生産でき、無農薬栽培が可能

⑤農園のホームページ
果実の生産者が、インターネットを使い、全国からの注文を受けることが可能

⑥サクラソノの低樹高栽培
高齢者や女性が収穫時に、楽に、安心して作業ができる

資料から考えたこと

日本の農業を活性化させるためには、

図() や

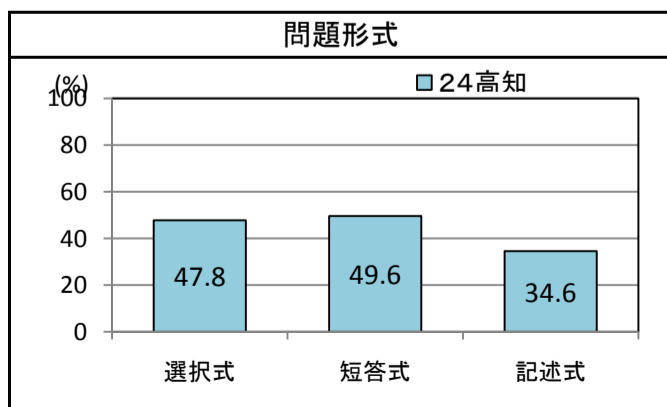
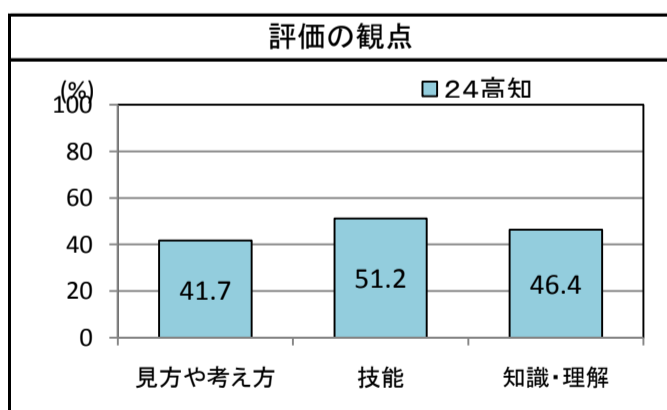
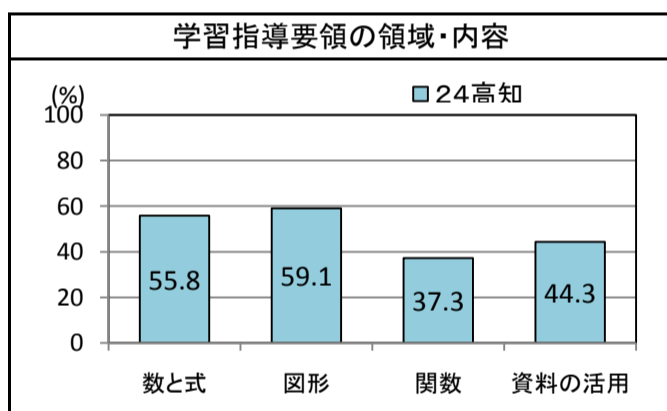
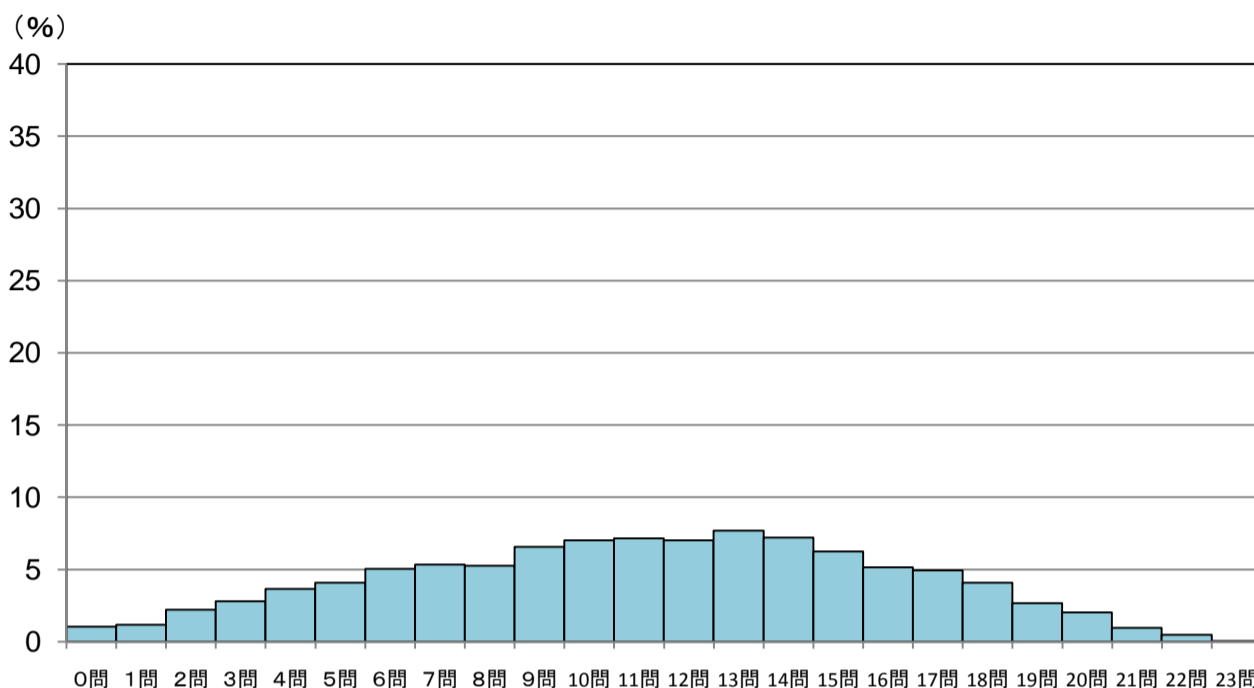
図() を考えていくことが必要だと思います。

中学校数学
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	4,933	11.1/23	48.3

正答数 (割合(%))	
0問	1.1
1問	1.2
2問	2.2
3問	2.8
4問	3.6
5問	4.1
6問	5.0
7問	5.4
8問	5.3
9問	6.6
10問	7.0
11問	7.2
12問	7.0
13問	7.7
14問	7.2
15問	6.2
16問	5.1
17問	4.9
18問	4.1
19問	2.7
20問	2.0
21問	1.0
22問	0.5
23問	0.1

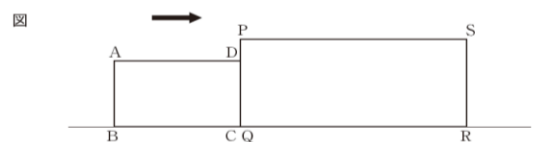
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



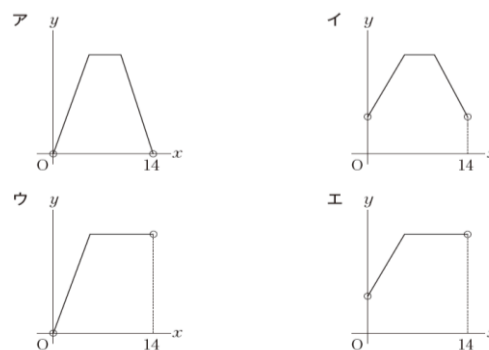
○数学の平均正答率は48.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・具体的な事象における一次関数の関係を式で表すこと
[3(5)① 正答率4.1%、無解答率43.2%]
- ・与えられた事象における2つの数量の関係を表すグラフを指摘すること [3(5)② 正答率16.3%、無解答率10.5%]

(5) 下の図のように、 $AB = 3\text{ cm}$ 、 $BC = 5\text{ cm}$ の長方形 $ABCD$ と $PQ = 4\text{ cm}$ 、 $QR = 9\text{ cm}$ の長方形 $PQRS$ が、直線 ℓ 上に点 C と点 Q が重なるように並んでいます。長方形 $PQRS$ を固定し、長方形 $ABCD$ を直線 ℓ に沿って矢印の方向に移動させます。このとき、点 C が点 Q から動いた距離を $x\text{ cm}$ 、2つの長方形が重なった部分の周りの長さを $y\text{ cm}$ とすると、 y は x の関数になります。次の各問に答えなさい。



- ① x の変域を $0 < x \leq 5$ とするとき、 y を x の式で表しなさい。
- ② 下のアからエまでの中に、 x の変域を $0 < x < 14$ とするときの変化の様子を表したグラフがあります。正しいものを1つ選びなさい。ただし、グラフ上の○はその点を含まないこととします。



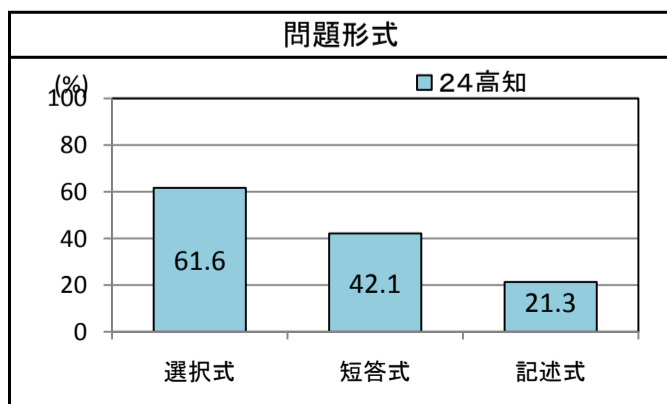
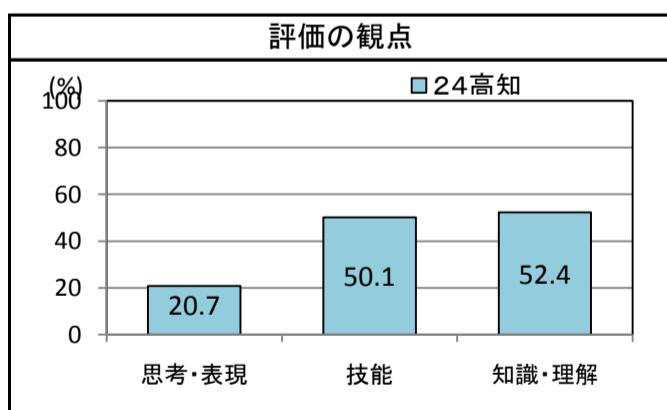
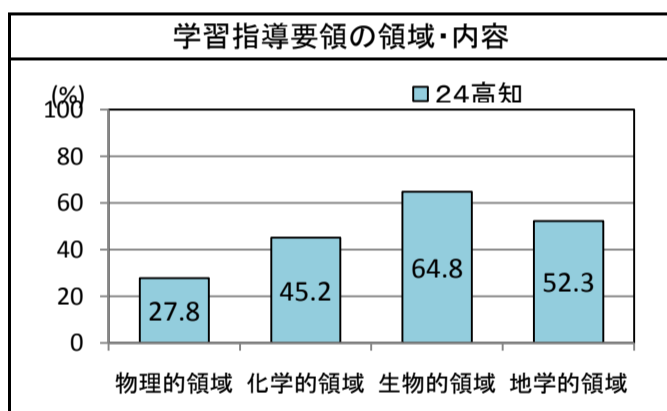
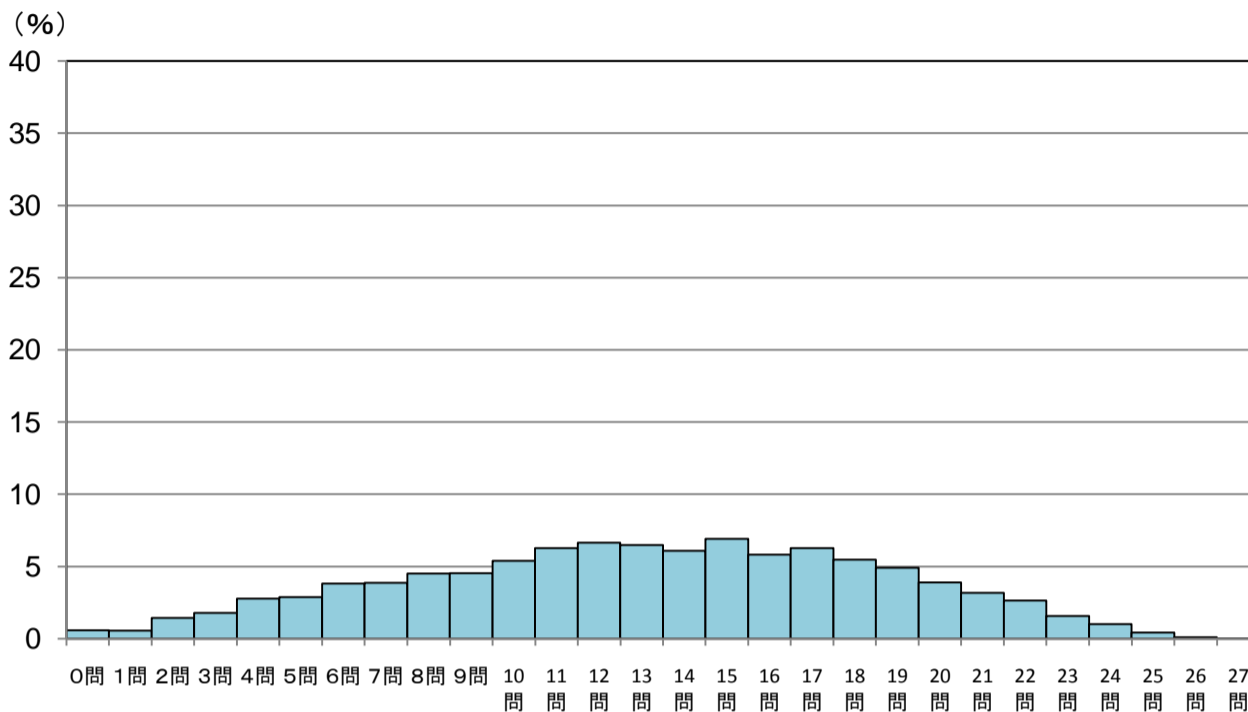
※学習シート等との関連
中学2年数学シート No.16 (1次関数の利用)

中学校理科
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	4,934	13.1/27	48.4

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	0.6
2問	1.4
3問	1.8
4問	2.8
5問	2.9
6問	3.8
7問	3.9
8問	4.5
9問	4.5
10問	5.4
11問	6.3
12問	6.6
13問	6.5
14問	6.1
15問	6.9
16問	5.8
17問	6.3
18問	5.5
19問	4.9
20問	3.9
21問	3.2
22問	2.7
23問	1.6
24問	1.0
25問	0.4
26問	0.1
27問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○理科の平均正答率は48.4%で、例えば、次のような課題が見られた。
・豆電球の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明すること [4(3) 正答率3.5%、無解答率24.7%]

レポート

実験

【目的】 2.5V用、3.8V用の豆電球に加える電圧をそれぞれ変化させたときの、豆電球に流れる電流の大きさと豆電球の光り方を調べる。
【方法】 図1の回路で2.5V用、3.8V用の豆電球を用いて、それぞれ実験を行う。

【結果】 実験の結果を表にまとめた。

電圧(V)	2.5V用豆電球		3.8V用豆電球	
	電流(mA)	光り方	電流(mA)	光り方
1.5	370	少し光る	312	少し光る
2.0	425	光る	?	光る
2.5	473	明るく光る	401	明るく光る

図1

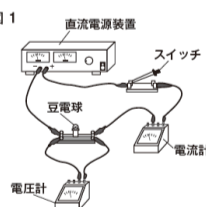
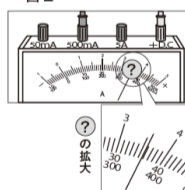


図2



実験を終えて、太郎さんは先生と話をして考察しました。

考察

先生：太郎さんは、図1の回路で、2種類の豆電球を用いて、それぞれ実験を行い、その結果をまとめたんですね。ところで、家庭では、いろいろな電気器具を同時に使いますね。家庭の回路のように、2種類の豆電球を1つの回路で同時に使用して、表と同じ結果を得るためには、どのような回路をつくって測定すればよいですか。
太郎：2種類の豆電球に同じ電流を流すために、それらを直列につないで測定すればよいと思います。

(3) 先生の問いかけに対する下線部の太郎さんの考えには、誤りがあります。表と同じ結果を得るために、正しく書き直さない。

※学習シート等との関連

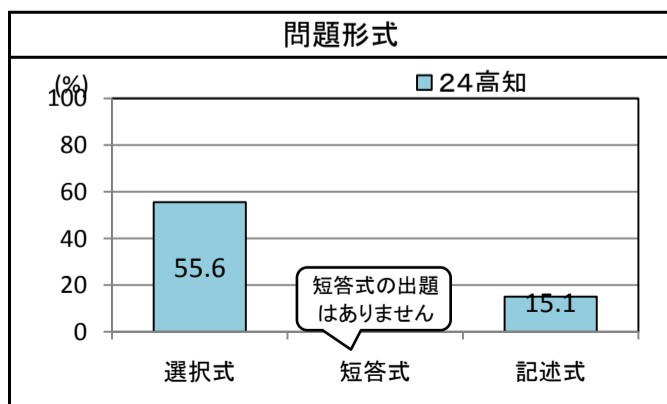
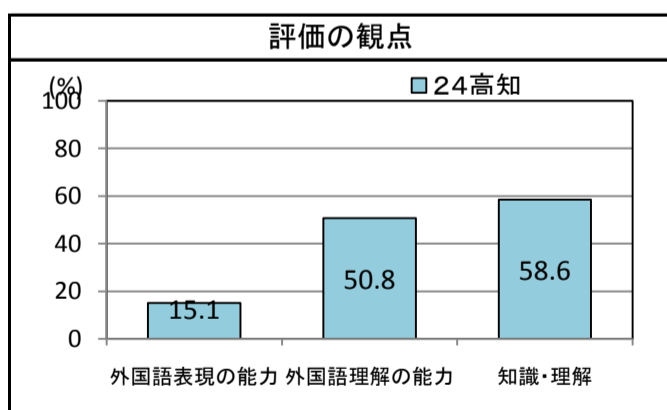
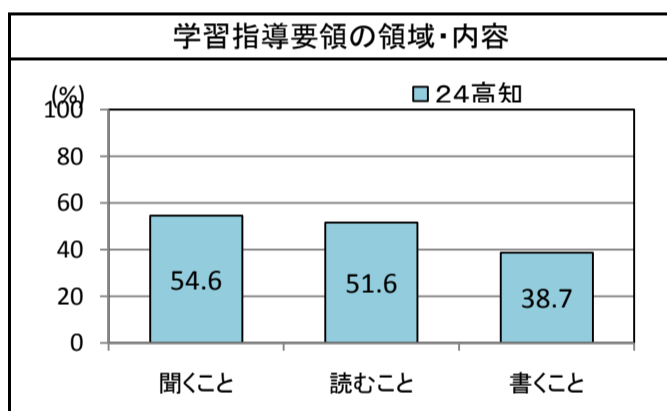
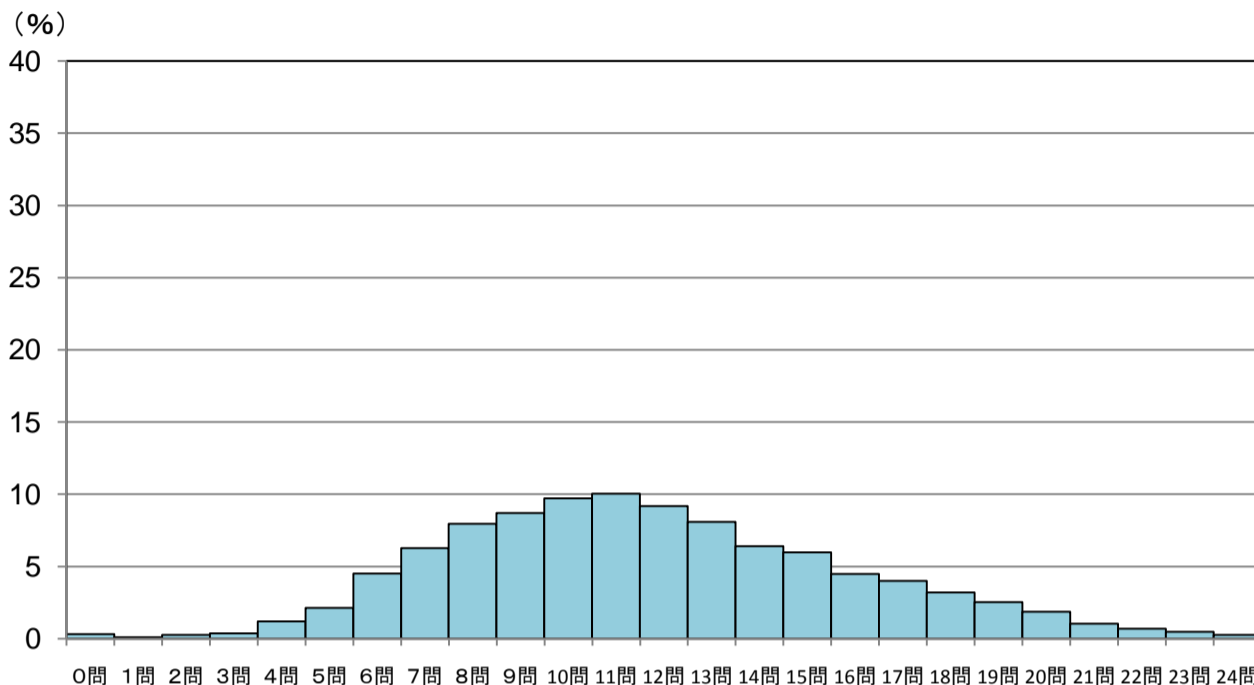
中学2年 高知県理科思考力問題集 中2-01

中学校外国語(英語)
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県(公立)	4,935	11.7/24	48.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.1
2問	0.3
3問	0.4
4問	1.2
5問	2.1
6問	4.5
7問	6.3
8問	8.0
9問	8.7
10問	9.7
11問	10.1
12問	9.2
13問	8.1
14問	6.4
15問	6.0
16問	4.5
17問	4.0
18問	3.2
19問	2.6
20問	1.9
21問	1.1
22問	0.7
23問	0.5
24問	0.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○外国語(英語)の平均正答率は48.8%で、例えば、次のような課題が見られた。

・感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること
[8(2) 正答率25.4%、無解答率29.8%]

8 次は、高知に住むアキ(Aki)が、アメリカに住む文通相手のナンシー(Nancy)からもらった電子メール(e-mail)です。そのメールに対して、アキは返事を書こうとしています。下の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

To Aki,
Hello. How are you? I want to know about Kochi.
My brother Mike will go to Kochi in April. He doesn't know about Kochi. We found three good places, the Shimanto River, Katsurahama and Sunday Market on the Internet. Mike likes to take beautiful pictures and eat good food. Which place is good for him?

To Nancy,
Hi. How are you?
Thank you for your e-mail.
I think ① is a good place for your brother because ②.

(注) found find(見つける)の過去形 place(s) 場所
the Internet インターネット which どちらの

(2) あなたがアキならば、ナンシーにどのような返事を書きますか。10ページの【英語の観光パンフレットの一部分】のいずれかを参考にして、メールの中の①、②に適切な英語を書いて完成させなさい。

※学習シート等との関連
英語ライティングシート Ⅲテーマ作文編
「観光地を紹介しよう」

本調査の分析から、次のことが見えてきました

- 小学校算数において、小数、分数の計算については相当数の児童ができており、無解答率が低い。
- 小学校では、全国学力・学習状況調査と同一の趣旨の問題において改善の見られるものもある。
(小学校国語⁷四、小学校算数²(1))
- どの教科においても、一問も正答できなかった児童生徒が見られる。
- 記述式問題において、正答率が選択式、短答式と比べ大きく下回り、無解答率が高い。
- 「思考・判断・表現」の観点における正答率が、他の観点と比べて低い。

次の学年を迎える前に 今、やっておくこと

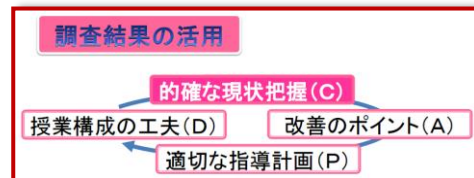
各学校の子どもたちのよさを生かし、
さらに充実・発展させるための取り組み

- 1 子どもたち一人一人の成果と課題を把握し、適切な指導を行う。
(例) 学習シート等を活用した個別指導や補充学習を行う。

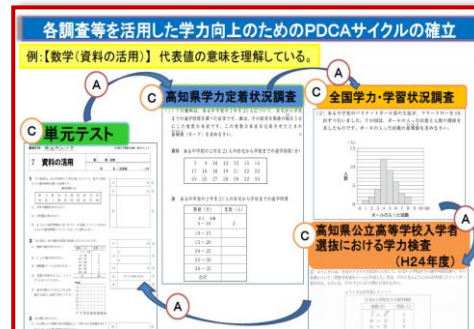


- 3 組織としての協力体制を確かにし、授業改善の方向性を明確にもち、その質を高めていく。
(例) 誤答分析を行い、子どもたちの強み・弱みから改善のポイントを明らかにする。
(各学校や小中連携における分析)

- 2 調査を活用した検証改善サイクルを確立する。



(例) 数学科における調査等を活用した一例



(例) 各教科で身に付けさせたい力の定着を図り、指導方法の工夫改善を行う。

課題改善の取り組みを進め、学力調査等を活用し、その効果を検証しましょう。

読み解く力・説明する力・記述する力等を 育てていく授業づくりを大切にしましょう

- ・子どもたちの「なぜかな?」(入口)が「なるほど!」「もっと知りたい」(出口)になるよう学習過程を大切にした授業
- ・何を指導すべきかを明確にし、指導した内容が身に付いたかを評価する学習指導のPDCAを生かした授業
- ・自分の考えを、根拠をもって表現し、他者との交流を通して深めることのできる授業

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい 授業づくりのポイント

授業中に

- 一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。
- 二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。
- 三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。
- 四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。
- 五、学習したことの振り返りの場を設定する。

日常的に

- 六、学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。
- 七、すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。
(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)
- 八、あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。

